



水漏れに

気をつけよう!!

※1か所でもチェックが入るようなら、水漏れを疑う必要があります。

- 検針票を見ると水道の使用量が極端に増えている
- じゃ口からの水の出が悪い
- 水道を使っていないときに、じゃ口や壁に耳を当てると水の流れる音がする
- 水洗トイレを使っていないときも、トイレの水が揺れている（ごくわずかに流れている）
- 水道設備で、普段乾いている所がなぜか濡れている
- 水を流していないのに、排水溝やマンホールに水が流れている

水漏れを
していないか
チェック!!

水道のじゃ口からポタポタと少しずつがたれる程度の水漏れでも水道料金は発生してしまいます。

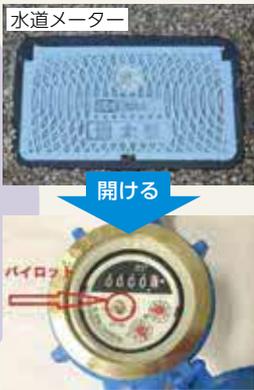
もし、見えない場所で水漏れしていたら…。

今回は、水漏れのチェック方法やその対策を紹介します。

水漏れのチェック方法

①じゃ口を閉めた状態で、水道メーターのふたを開けてメーターを確認し、パイロットを確認してください。（左図参照）

②パイロットが回転していたら、どこかで水が漏れている可能性があります。



水漏れの修繕

水漏れしていることがわかれば、みなさんで修繕が必要です。業者に依頼する場合は、「専門の水道業者」もしくは、「(株)川西水道サービス」757・2001に修繕を依頼してください。費用はみなさんの負担となります。

水漏れ時の応急処置

使用している器具の止水栓（バルブ）もしくは水道の止水栓を右時計回り（に回して水を止めておきましょう）。

※水道の止水栓は水道メーターボックスを開けると、メーターの近くにあります。

止水栓が古くなった時の処理方法

止水栓が古くなり、閉まりにくい場合は、無理に締め付けしないでください。

止水栓を閉めても水が止まらなかった場合、どこで水が漏れているかわかるのであれば、水漏れしている部分に水漏れ補修用テープなどで補修することもできます。ただし、これはあくまでも応急処置ですので、そのまま放置せず(株)川西水道サービスに修繕を依頼してください。

じゃ口やトイレのレバーが壊れたときの止水方法

●じゃ口が壊れたときは、流しの下にある止水栓を閉めてください。



●トイレのレバーが壊れたときは、トイレの横にある止水栓を閉めてください。



※止水栓を閉める際にドライバーが必要な場合もあります。

水漏れをしたときの水道料金

水漏れに伴い増加したお客様の上下水道料金のご負担を考慮し、水漏れした箇所などによっては、上下水道料金減免を受けられる場合があります。

詳しくはお客さまセンター ☎740・1262 にご相談ください。なお、上下水道局ホームページへは下記のQRコードを読み込んでください。

